

幾何学作品 立体感養う

優秀賞 算数・数学教育部門

早稲田櫻陵高・塚平恒雄非常勤講師 69



「生徒の創造性を育みたい」と話す塚平さん（左、茨木市で）

雑な二十面体や九十二面体、高さ10㍍のタワーなどにも挑戦してきた。「生徒の創造性を育み、環境教育にもつながる」と強調している。

縦に並べてくつつけたペットボトルの柱を三角形に組むトラス工法で、多面体を作る「ペットボトル・トラス」を考案した。様々な研究に取り組む「生物研究部」部員らと20年以上、製作を繰り返している。

茨木市からリサイクルのシンボルとなる作品づくりを依頼されて始めた。正八面体や正二十面体

などを製作する際、最後の柱をねじ込むと、全体がどんどん張りつめ、美しい立体に仕上がるという。「製作を通じて幾何学的な立体の感覚を養うことができる」

展示の終わった作品は解体し、ペットボトルは何度も再利用する。三角形の多面体だけでなく、正五角形や正六角形も取り入れ、複